



PORSCHE



Cayenne, Cayenne S

取扱説明書

お客様各位

この度はボルシェ・カイエンをご購入いただき誠にありがとうございます。

カイエンはひとつのカテゴリーに収まるモデルではありません。オンロードのパフォーマンスは純粋なボルシェそのものです。しかもオフロードのパフォーマンスは肩を並べるものすらありません。その走りに対するはコンセプトの具現化です。もちろん、ハイレベルの快適性と総合的な実用性も忘れてはいません。そう、これがボルシェです。

50年もの長きにわたるスポーツカーの歴史を背負った車。数多くのラリーでのボルシェの成功の軌跡を受け継いだ車。そのテクノロジーはほとんど一から開発したものです。

そして・・・

今だかつて見たこともないような車が誕生しました。

第3のボルシェです。

この取扱説明書には、カイエンについて必要なあらゆる情報が含まれています。

また、それぞれ警告、注意、知識という、お車を取扱う上で特に重要なことが記載されています。ご使用前に必ずしっかりと読みください。

別冊の整備手帳には、お客様がお車を正規ボルシェ販売店で整備を行っていただく上で、有益な情報が盛り込まれています。

お客様のボルシェは、世界中でアフターサービスを受けることができます。

保証期間が終了した後も、推奨された間隔で整備を受けることをお勧め致します。正規ボルシェ販売店でサービスを受けると、品質が保たれるだけでなく、再販価格や下取り価格がいつも有利なものになります。

すべてのボルシェが表現するもの、「純粋な駆け抜ける歓び」を心ゆくまでお楽しみください。

カイエンとともに走り、ともに年を重ねて。

ボルシェ ジャパン株式会社
Dr.Ing.h.c.F.Porsche AG

「ポルシェ」、ポルシェのロゴ、「カイエン」、
「ティプトロニック」、「テクニッパメント」
は、ポルシェ社の登録商標です。

Printed in Japan

本書の一部または全部の複製は、ポルシェ
社の許可がない限り禁止致します。

© Dr.Ing.h.c.F.Porsche AG
ポルシェ ジャパン株式会社

車載マニュアル

取扱説明書など、車内に装備されている印刷物は常に備えておき、お車を売却される場合には、次の購入者にお渡しください。

装備について

当社の製品については絶えず開発作業をつづけているため、装備品および仕様が本マニュアル掲載または記載の内容と異なることがありますのでご了承ください。

オプション装備品や、国や法的基準によって本マニュアルの記載内容と異なっている装備には項目にアスタリスク*が付いています。

本マニュアルに記載した一部の装備品はオプションです。オプション装備品の後付けについては、正規ボルシェ販売店にご相談ください。お車の装備品で本マニュアルに記載のないものについては、正規ボルシェ販売店にご相談いただければ、操作とメンテナンスについてご説明致します。

国によって法的基準が異なりますので、お車の装備品が本マニュアルの記載内容とわずかながら異なっている場合があります。

ご質問・ご提案

車両、マニュアルに関するご質問、ご提案等ございましたら、下記までご連絡ください。

東京都目黒区下目黒1-8-1

ボルシェジャパン株式会社

アフターセールス部サービスグループ

目次

各章の目次には、項目とページ番号が記載されています。

さく引

巻末にさく引（あいうえお順）を用意しましたので、お読みにになりたい項目を直接探すときにご利用ください。

環境保護について

環境保護の手引き

ボルシェ社は、環境に優しく安全性に優れた技術と、人を引きつける強い魅力を合わせ持つ、他に類のない車両を開発、製造しています。

ボルシェ社の環境保護の方針は、次の信念に基づいています。

- 環境保護と安全性の技術を可能な限り使用します。
- エネルギーと資源を節約します。
- 関連業者にもボルシェ社の環境保護の取組みに参加してもらいます。
- すべての社会団体と対談を行います。

製品

製造や修理において、ボルシェ社は常に環境に優しい技術を採用しています。ウォーター・ベースのペイントなどがその例です。ウォーター・ベースのペイントと新しい塗装方法によって、溶剤の放出が70%減少されます。また、塗装で使用される水は、循環されています。排水は、適切な処理が施された後で、工場から排出されます。

廃棄物管理計画を導入し、廃棄物の量を減少させるとともに、再生利用の割合を増加させています。

環境に優しい車

最新の環境保護技術により、世界中すべての排出ガス規制に適合しています。

触媒コンバータの特徴

- 触媒コンバータが素早く作動状態になるため、短距離の走行でも排気ガスが低減されます。
- 長期にわたり、信頼性のある作動と排気ガスの制御が保たれます。

環境に優しい運転

運転を楽しみながら、環境に配慮することも可能です。

以下の点に注意していただくと、騒音や燃料消費量を抑えることができます。

- ▷ 常に燃料消費量を確認してください。
- ▷ 必要な時以外はエンジン暖機のためのアイドリングは避けてください。
- ▷ アクセルを一杯に踏まさないでください。状況にあわせて高いギヤにシフトしてください。
- ▷ 信号待ちや渋滞などで比較的長い間停車する場合は、エンジンを停止してください。
- ▷ 必要でない電装品は電源を切ってください。
- ▷ 定期的にタイヤ空気圧を確認してください。
- ▷ エアコンは必要時のみお使いください。
- ▷ ルーフ・ラックを使用しないときは、車両から取外してください。
- ▷ 「保証とメンテナンス」に定められた期間に従って点検を受けてください。

運転の際には、エンジン回転数が低いほど燃料消費量および騒音が減少することを念頭においてください。

リサイクル

現在までに製造された全ボルシェ車の3分の2以上がまだ現役です。

ただ、万ーリサイクルが必要になった場合に備えて、次の対策がとられています。

- ー 再利用しやすい設計にしています。
- ー すべての素材を識別できるようにしています。
- ー リサイクル可能な素材を使用しています。
- ー 再使用可能な部品は容易に取外せるように設計しています。

排ガス制御を採用しています

高いエンジン性能と環境保護を両立させたエンジン技術を導入しています。

エンジン診断システムは、排気ガスに関係する部品とシステムを電子的にモニターしています。

この継続的なモニターと不具合の記録によって、迅速で信頼性のある診断と不具合の検知を可能にしています。

不具合は、エミッション・コントロール警告灯によって示されます。

- ▷ 「エミッション・コントロール警告灯」(71ページ)を参照してください。

⚠ セーフティ・ノート

- ▷ お車にはボルシェ純正部品、またはボルシェ社の要求する性能、品質規準を満たす同等部品を使用してください。これらの部品は、正規ボルシェ販売店にご注文ください。

安全に関するアクセサリは、ボルシェ・テクニップメント部品、もしくはボルシェ社によりテスト、認証されたもののみを使用してください。これらの部品、アクセサリについては正規ボルシェ販売店にお問い合わせください。ただし、ボルシェ純正部品またはボルシェ推奨以外の部品もしくはアクセサリを使用するとお車の安全性に支障をきたす恐れがありますから、この結果として生じた損害または損傷に対してボルシェ社は責任を負いかねることがあります。

- ▷ その他のアクセサリまたは部品の供給元が許可を受けている場合でも、これらの製品を装備することによって、お車の安全性に好ましくない影響をこうむることがあります。アクセサリのマーケットには相当数の製品が出回っていることから、ボルシェ社ですべての製品を検査ならびに推奨することはできません。
- ▷ また、ボルシェ純正部品以外または推奨部品以外の部品の交換、もしくはアクセサリの使用は、お車の保証に対しても好ましくない結果を招く恐れがありますのでご注意ください。

- ▷ お車に損傷の兆候がないか定期的に点検してください。損傷したり、失われたエアロ・パーツ（スポイラーやアンダー・サイド・パネル）は運転状態に影響を与えますので、ただちに交換してください。

フィルムおよびカバー

- ▷ ヘッドライトやエア・インテーク部分をフィルムまたはストーン・ガードなどで覆わないでください。温度が高くなり過ぎて損傷する恐れがあります。

ヘッドライトは温度や湿度によって曇る場合があります。

- ▷ 最適な換気を行うために、ヘッドライトと車体の隙間にカバーをしないでください。

改良作業

ボルシェによって承認された場合にのみ、改良が行われます。

これにより、お客様のボルシェ車は運転の信頼性と安全を確保し、損傷を防ぐことになります。

正規ボルシェ販売店がご相談をお受け致します。

運転時の装備の設定および操作

警告

事故を起こす恐れがあるので、運転中にマルチ・ファンクション・ディスプレイ、ラジオ、ナビゲーション・システム、電話等の操作や設定を行わないでください。

運転以外に気をとられ、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▷ 運転中に装備を操作する場合は、安全に操作できる交通状況のときのみ行ってください。
 - ▷ 複雑な操作や設定は車両を静止した状態で行ってください。
-

スポーツ・デザイン・パッケージ装着車

警告

スポーツ・デザイン・パッケージ装着車のフロント、リア、サイド下部の各部品は塗装され、低くデザインされています。オフロード走行を行うとこれらの部品を損傷する恐れがあります。

- ▷ オフロード走行時、これらの部品を損傷しないよう十分注意して運転してください。
 - ▷ 車両の下面と障害物との間に十分な空間があることを確認してください。
 - ▷ 水たまりや浅瀬の走行は避けてください。
 - ▷ サイド・メンバ・トリムを足掛けとして使用しないでください。
-

